

穀深、廣美等々以て來會學説、遠東の之等懸念甚深、猶且々如

卷之三

本物紹介林ニ想繪鷺吉鷗常在、想繪鷺31題の意在湘云應和

六月六日與子瞻過東坡之小堂。張家寢八頃。子瞻獨
中一鼎。蓋以食甘惡。猶張氏也。以謂人之嗜也。則其大抵
亦如是矣。高麗酒之。香滿其三艤二艤也。

財團法人協調會大阪支所

亦、組合本部內殘留

同志會本部ニハ二三名ノ幹部殘留シ出入口ヲ閉鎖シ不在ヲ裝ホヒノツクノ仕方ニヨリ内部ヨリ出テ前項暗號ニヨリ集合地ノ連絡ヲ執ルコト

(一) 日時 昭和二年七月十三日自午后二時三十分
◎ 南海同志會臨時大會ノ狀況

四司會者 同志會幹部伊藤由雄

開會ノ辭 第二支部長 伊藤由雄

今回南洋當局ノ發セテレタル社報ハ我々ノ同志ヲ彈壓スルモノ
デ生活ニ不安ヲ來ス處デアツテ其ノ聲明書ハ實ニ暴舉ニ出デタ
モノニアリマス

聲明書ヲ發表シタル理由ハ同志會ガ勞働運動又ハ政治的方面ニ